

2019年世界無線通信会議 (WRC-19)において、海中への落水者、漁網、浮上時のダイバー等の位置情報を国際VHF帯で送信するための「[自律型海上無線機器 \(AMRD: Autonomous Maritime Radio Devices\)](#)」の周波数等が合意されたところ。その導入に向けて、2つに分類されるAMRDの利用ニーズを踏まえた技術的条件の策定等に向けた調査検討を行う。

AMRDの分類

分類	GroupA	GroupB
定義	航行の安全向上に係わるAMRD	航行の安全向上に係わらないAMRD
利用想定	落水者装置 (DSC MOB) 移動する航路標識 (MAtoN)	漁網の位置情報 ダイバー (浮上時) 位置情報
チャンネル (使用周波数)	CH70 (156.535MHz) AIS1 (161.975MHz) AIS2 (162.025MHz)	CH2006 (160.9 MHz)

【AMRDの使用想定例】



漁網の位置情報



ダイバー (浮上時) 位置情報

調査検討会

構成員

学識経験者、関係団体 (メーカー、漁業等のユーザ)、国等

調査検討事項

- ・利用ニーズ
- ・国内外動向
- ・システム要求条件の検討
- ・周波数共用検討
- ・実証試験に必要な要件等

目標

検討結果を踏まえ、今後、AMRDの制度化に必要な技術的条件の策定等の取り組みを進める。